

合同防災訓練と 防災講演会を実施

【安全部会部会長：宮下 崇士】

10月30日、西黒部、朝見、掃水、東黒部、機殿、漕代 各地区合同の「東部ネットワーク合同防災訓練」を開催しました。機殿各地区の一時避難者は301名。次に津波を想定した避難訓練を実施。櫛田川の右岸と左岸に分かれ、上流地区の小学校へ歩いて避難しました。機殿地区では、機殿小学校に192名、漕代小学校に43名が避難しました。また、この日、機殿小学校では「平成28年松阪市消防団小型ポンプ操法大会」で優勝した機殿分団による操法の実演もありました。



12月2日には、建築構造学や、耐震設計学などを専門に活動する三重大学の川口淳（かわぐち・じゅん）准教授をお招きし、防災講演会「大震災・大津波から命を守る～いまやるべきことは？～」を開催しました。川口氏は「原則として堤防を使った避難は危険」としながらも「あくまで原則であって状況に応じて判断してほしい」とし、我が身を守ることが最も大切であることを解説。78名の参加者は皆、熱心に話を聞いていました。皆さんも災害時に少しでも冷静な対応ができるよう、日頃からの備えを万全にしていただければと思います。

はたどりまちづくりだより に情報を寄せください

「はたどのまちづくりだより」は、機殿まちづくり協議会の活動を地域の皆様にお知らせする広報として、年4回発行しています。
(都合により変更する場合があります)

まちづくり協議会の事業、各部会の事業のお知らせ、活動報告など、情報提供には参考資料としてチラシや要項、活動内容がわかる写真データなども添えてご提出いただけますと助かります。

情報提供は
コチラまで

各部会の「広報編集委員」もしくは機殿地区市民センター内「広報編集委員会」まで。



TEL : 0598-59-0351



機殿まちづくり協議会 会報

第 28 号

2017.1.1

発行:機殿まちづくり協議会 広報委員会

TEL:0598-59-0351

まちづくり
協議会



本年もよろしく

機殿まちづくり協議会：会長 澤村 茂

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、何かとお忙しい中、当会の活動に多数の方々のご協力ご参加をいただき誠にありがとうございます。

おかげを持ちまして大きな行事は、ほぼ終了しホッとしているところです。

平成28年度は、12月に新たに「はたどの祭り」を、松阪興産様やJA松阪様のご協力もいただきながら催すことができました。地域外から多くの方々に参

していただくことができ大変嬉しかった

です。歴史ある機殿を少しでも知つていただくよい機会になったのではないかと思っています。

初めてのことでしたので、いろいろな問題点も残し課題も多くあった取り組みでした。準備不足のところはありましたが、よくあれだけの催しをやり切れたものと、スタッフの方々の大きな頑張りに感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成29年も機殿を楽しくするために、より一層のお力を貸しください。よろしくお願いします。



(はたどのまちづくりだより)

“はたどの祭り”に想う

【農業振興部会長：横井 富夫】



12月11日、松阪市の元気応援事業に応募し、採択された「第1回 はたどの祭り」を開催しました。機殿地区の特徴である“自然と産業”、“歴史と文化”を盛り込み、“むらおこし”を軸に企画提案したのが6月のこと。この地域の農産物をブランド化し、育てて売る楽しみに加え、食べる楽しみをアピールした企画としました。

今回の「はたどの祭り」では“農”をメインに企画を練り、特に米・苺・野菜全般の農産物を取り上げました。“食”については、苺大福・シフォンケーキ等を作り、地元食材を活かした“食べることの楽しみ”を提案しました。この取り組みで何よりも嬉しかったのは、地域内外から多くのボランティアの皆さんのが参画していただけたことです。今後、この祭りを継続するにはこれが最も重要な要素と確信しています。

準備不足、説明不足、企画力の弱さなど反省点もありましたが、この祭りには、「まちづくり協議会の財源の確保」、「地域コミュニケーションの場」といった側面があるほか、地域外にも積極的に広報し、「機殿の存在感をアピール」する狙いもあります。なお、歴史・文化の掘り起こしについては、今後の課題として位置付け、次年度に引き継いでいく考えです。今後とも、皆さまのご理解とご協力をいただければ幸いです。

最後に、農産物を無償でご提供いただいた皆さん、ボランティアで関わっていただいた皆さん、ご来場いただいた皆さん、祭りを盛り上げていただいた全ての皆さんに感謝します。ありがとうございました。

昔ながらの手法で米作り

【環境・エコ推進部会長：中川 一郎】

9月9日、機殿小学校5年生の生徒8名と共に4月から育ててきたお米の刈り取り、脱穀作業を行いました。子どもたちは慣れない手つきながらも、稻刈り、はさ掛け、脱穀を体験。脱穀には昔の足踏み機を使い、ワイワイ楽しく学びました。

10月15日には、ミニ糀すり機とラムネ瓶を使い、糀すりと米つきを体験。力を入れすぎて米が割れてしまう子もいましたが、炊き上がったご飯で作ったおにぎりは、お焦げも含めて美味しいただけだと思います。体験学習の最後には、お米についての歴史、文化、お米を使った食品の種



類、お米の生命力（一粒の種から何粒実るのか）、お米のなかった時代の食べ物等も学びました。

10月24日には、学校のラウンジ前の“小さな田んぼ”で育てた「ベニロマン」の刈り取りもしました。その後、部会から全員に修了証書を授与。生徒さんから体験感想文をいただきました。5年生の皆さん、スタッフの皆さん、お疲れ様でした。

地域の意見聞く座談会実施

【健康福祉部会長：中川 佳久】

9月17日～10月4日までの期間、各自治会にて集落座団体を開催しました。今年度の座談会は松阪市第四地域包括支援センターの協力のもと、「私たちが住み続けたいまちってどんなまち？ こんなまちにしたいなあ」をテーマに各地で話し合いました。自分の住む地区の「良いところ」、「地域での活動」、「こんな支えがあれば」、「私にできること」などを意見として出し合い、それぞれの地区の現状や課題を洗い出しました。出された意見は、健康福祉部会の取り組みである「生活サポート事業」



に反映させていく考えです。

健康福祉部会としては、今年度中完成を目指して「健康づくりウォーキングマップ」を作成中のほか、3月には「健康ウォーキング大会」を実施する予定です。ウォーキング大会は詳細が決まり次第、チラシなどでお伝えします。ぜひご参加ください。